



小児、思春期・若年がん患者の妊^{にん}よう性温存に係る 卵巣組織等の凍結・保存の協定を締結します

県内で初めて医学的適応による卵巣組織凍結実施施設として医療法人登誠会諏訪マタニティークリニックが公益社団法人日本産科婦人科学会より令和元年11月25日に登録されました。今後、長野県立こども病院は、諏訪マタニティークリニックと連携し、小児、思春期・若年がん患者の妊^{にん}よう性温存に係る卵巣組織等の凍結・保存を実施してまいります。ついては、両病院間で協定を締結します。

1 日時

令和2年1月10日（金）午後4時

2 場所

長野県立こども病院南棟2階大会議室（安曇野市豊科3100番）

3 出席者

医療法人登誠会 諏訪マタニティークリニック院長 根津 八紘
長野県立病院機構長野県立こども病院院長 中村 友彦

4 妊^{にん}よう性温存とは

抗がん剤や放射線治療後に卵巣の廃絶や高度の障害によって妊^{にん}よう能を喪失（子供をつくることができない）する若者が存在することが問題となっています。この問題に対して、治療前の卵巣組織等を採取し凍結保存することを妊^{にん}よう性温存といいます。

このことにより、原疾患の治療後に妊娠の可能性が残ります。

長野県立こども病院
（院長）中村 友彦
（総務課長）小宮山 実
電 話 0263-73-6700（内線：3017）
F A X 0263-73-5432
E-mail kodomo@pref-nagano-hosp.jp

長野県立病院機構本部事務局
（局長）蔵之内 充
（担当）櫻井 由香 氷熊 真也
電 話 026-235-7152（直通）
F A X 026-235-7161
E-mail honbu@pref-nagano-hosp.jp